

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	九州大学学術研究都市推進機構補助金		
担当所属	ブランド・学研都市推進課	連絡先	092-332-2079

【事務事業基本情報】

区分	⑤その他の事業補助（負担金的）		
該当規等	なし		
基本目標	基本目標5__みんなの力で進める協働のまちづくり		
政策	政策6__九州大学との交流の推進		
施策	施策⑫__大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
【目的】 九州大学の研究成果である知的資源の活用と産業界の事業化需要とを結びつけ、①産学官の連携、②企業・研究機関等の立地促進のための調査検討、情報提供、③先端技術に係る調査研究を推進することで、地域経済の活性化、九州大学学術研究都市構想の具現化を図るため。	
【対象事業】 1 学術研究に関する広報活動事業 2 産学官の共同研究による研究開発支援事業 3 産学連携交流支援事業 4 研究機関等の立地支援事業	
【対象者】	

【改革案】

今後の実施方向性	やり方改善
九州大学学術研究都市の構築のため、糸島サイエンス・ヴィレッジ等の本市の取組への支援、企業・研究所の誘致、構成団体5者間の連携調整などにおいて、OPACKに更なる中心的な役割を求めていく。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標			

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	5,752,581	6,791,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題	九州大学学術研究都市構築の実現に向けて、糸島市、九州大学、福岡市、福岡県、経済界の5者連携が必要とされていた。
現状の周辺環境・課題	九州大学学術研究都市の構築のため、OPACKを中心とする更なる連携調整が求められている。
今後の予想される周辺環境・課題	九州大学の移転完了により、学術研究都市の構築は成熟期を迎えている。今後更に企業・研究所の誘致、構成団体5者間の連携調整など、OPACKが中心的な役割を果たすことへの期待が一層高まる。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等	市内への新たな企業・研究所等の誘致、生活・交流拠点の整備促進